

教科	科目		担当者
芸術	音楽 I	単位数： 2単位	佐々木 優子

指導目標

音楽に関する専門的な学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

高校通信講座	あり	講座数：全20回	教科書	教育出版 音楽 I Tutti
スクーリング	2単位時間×3回	合格時間数4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合70%	評定	100点法5段階評定

回	配信日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	10/5	人間と音楽		第1回 10/16 (日) 10/19 (水) 〈ボディーパーカッション〉基礎的なリズムを確認し、ボディーパーカッションを体験する。
2	10/5	イタリアの歌	第1回	〈器楽〉数人でメロディーを作り上げる「ミュージックベル」の演奏をする。 この活動により、楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。
3	10/12	フランスの歌	10月19日	
4	10/19	いろいろな声	第2回	
5	10/26	いろいろな楽器	11月2日	
6	11/2	スペインの音楽 (ギター)	第3回	第2回 12/4 (日) 12/7 (水) 〈器楽〉ギター演奏の基礎として、ギターの種類、楽器各部の名称、楽器の持ち方、調弦の方法、ダイアグラムの読み方、タブラチュア譜の読み方、左手の指番号、右手の指の名称、弦の押さえ方、ストローク奏法を学ぶ。
7	11/9	ロシアの歌	11月16日	コードネームの意味を知り、「G」「Em」「Am」「D7」と使い「夢の中へ p75」を演奏する。
8	11/16	アジア・アフリカの音楽	第4回	
9	11/23	アメリカの音楽 (ジャズ)	11月30日	
10	11/30	日本のうた	第5回	第3回 1/15 (日) 1/25 (水) 〈器楽〉箏演奏の基礎として、楽器の置き方、楽器各部の名称、調弦の方法、爪の種類、爪の違いによる構え方の違い、奏法を学ぶ。 「さくらさくら」を演奏する。 〈創作〉日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の持つ自然なリズムを生かしながら、短い詩にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。
11	12/7	日本のしらべ	12月14日	
12	12/14	作曲家「ベートーヴェン」 歓喜の歌	第6回	
13	12/21	鑑賞「惑星」	12月28日	
14	12/28	音楽の歴史 (1)		〈創作〉日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の持つ自然なリズムを生かしながら、短い詩にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。
15	1/4	音楽の歴史 (2)		
16	1/4	期末テストについて (事務連絡)		
17	1/4	期末テストについて		
18	1/18	音楽の不思議		
19	1/25	指揮者の仕事	期末試験：2/6 (月)	試験範囲：第2週～第13週 レポート1回～6回
20	1/25	音楽のくすり		

教科	科目		担当者	
芸術科	書道Ⅰ②	単位数：2単位	石見 仁唯奈	
指導目標				
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。				
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。				
(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。				
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
高校通信講座	なし		教科書	光村図書 書Ⅰ
スクーリング	2単位時間×3回	合格時間数 4時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全3回	合格枚数 3枚	副教材	なし
期末試験	なし		評定	100点法5段階評定

回	作品課題	作品テーマ	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	行書；空海 風 信帖 P42「行書の 特徴」 「風信雲書」 「自天」 (教科書54 頁)	1. 行書の基本を学ぼう。 2. 日本の書の代表的な空海の書を学ぶ。 3. 和様の成立過程及び、字源について	第1回 10/26	◇ 面接指導1回目 A10/16 W10/19 ・ 行書の特徴を理解し練習する。 ・ 第1回の課題(1)行書の特徴を練習しながら理解を深め、筆脈を意識して書く。 ・ 課題(2)も(1)同様に筆脈を意識してリズムに合わせて書く。
2	行書；細字① ② (教科書折込 み頁) 王羲之 蘭亭序 「永和九年… 山陰」	1. 行書の特徴をつかみながら「書聖」と呼ばれた王羲之の書を学ぶ。 2. 小筆を使用して細字を学ぶ	第2回 12/14	◇ 面接指導2回目 A12/4 w12/7 ・ 第2回は、小筆を使用して行書の特徴プリント①で復習し、「蘭亭序」の課題(1)から課題(2)までを細字で学ぶ。 ・ (1)を一度写し書きすることにより運筆、抑揚、線の流れをつかむ。それから(1)(2)を観察しながら見て書く。
3	漢字、仮名交じり書：(教科書9 8～109を参 考にして) プリント① 「さまざまな構 成」 桜井和寿の詩 「生きるための …」	1. 自分の表現をめざして、漢字と仮名の交じった詩、短歌、俳句などの文章を素材とした作品の書き方、調和の方法について学ぶ。 ※参考作品「生きるための…」と「雨ニモマケズ…」にたよらず自分なりに構成を工夫して作品制作をする。	第3回 2/1	◇ 面接指導3回目 A1/9 W1/12 ・ 第3回の課題(1)・課題(2) ・ プリント①様々な構成①～⑧を練習してそれも提出する。 ・ 作品構成を考え、自分なりの作品を作る。

	宮沢賢治の詩 「雨ニモ負ケズ …」			
--	-------------------------	--	--	--

※【 面接指導日の注意 】

1. 面接時間数が少ないので、すべてに出席するようにしよう。
2. 用意するもの…書道用具(大筆、小筆)、半紙、新聞紙 **【忘れず持参しよう】**
3. 面接指導日等はよく時間割を確認し、受講すること。

※【 書道作品の提出方法ロイロノート 】

1. タブレットなどのカメラで、書道の作品の写真を撮る。(ロイロノート内のカメラ機能を使うと便利)
2. ロイロノートに取り込んだ写真(作品)を、第1回から第3回の「作品提出票(レポート)」の後に、つなげて(添付)提出する。

教 科	科 目		担 当 者
芸術	美術 I	単位数： 2 単位	本多 優貴

指導目標

- (1) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。様々な材料を使い自分なりの工夫を加えていく。
- (2) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。画題に沿ってアイデアを練り、具体的に形を作っていく。
- (3) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を最後まで仕上げることにより達成感を味わう。

高校通信講座	あり	講座数：全 4 回	教科書	光村図書 美術 I
スクーリング	2 時間×3 回	合格時間数 4 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 枚	合格枚数 6 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定

回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	10/7	入門編 (学習の進め方)		第 1 回 第 1 回デッサンからはじめよう
2			第 1 回 10/26	☆第 1 回目レポート内容 10/16 (日) 10/19 (水)
3				立方体が机に置いてある状態を鉛筆デッサンする。6 段階のグレースケールをつくりそれを基準にして調子をつけていく。各面の鉛筆の調子に気をつけて立体感を出していく。
4	10/7	コラージュで表現		第 2 回 11/4
5				☆第 4 回レポート内容 12/4 (日) 12/7 (水)
6	10/14	文字でデザイン	第 3 回 11/25	筆以外にも様々な材料 (歯ブラシ、型紙、スポンジ、ボール紙、ストロー、マーブリングなど) を使い自分のイメージを抽象表現する。材料の特徴などを生かしてひとつの作品として仕上げていく。
7				
8			第 4 回 12/14	☆第 6 回レポート内容 1/15 (日) 1/25 (水)
9				
10	10/28	様々な素材で造形する	第 5 回 12/23	
11				
12			第 6 回 2/1	
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19			期末試験：なし
20			